

迫桜高等学校

校訓 敬愛 創造 至誠



1 基本データ

創立：平成13年
課程・学科：全日制課程・総合学科
生徒数：424名
所在地：〒989-5502
栗原市若柳字川南戸ノ西184
TEL：0228-35-1818
FAX：0228-35-1822

ホームページアドレス：
<https://hakuou.myswan.ed.jp/>
電子メールアドレス：
hakuou@od.myswan.ed.jp
主な交通機関：栗原市民バス
石越駅より栗原中央病院ゆき 迫桜高校入口下車 徒歩2分
くりこま高原駅より石越駅前ゆき 迫桜高校入口下車 徒歩2分

2 学校の特徴

キャッチフレーズ

夢 はばたけ未来へ！

「敬愛 創造 至誠」を校訓とし、命あるものを尊び、豊かな人間性と進取の精神を養い、夢のある未来社会をめざし、創造的に自己鍛錬に励む、心身ともに健全な人間の育成を目標としています。

(1) 学校の概要(沿革、環境、施設等)

県北の田園地帯に位置し、西に栗駒山を望むことができる本校は、栗原・登米地区で初の単位制総合学科の高校として、平成13年4月に開校しました。

本校は、生徒のいろいろな興味や関心、進路希望に対応できるように、人文国際・自然科学・福祉教養・情報ビジネス・エンジニアリング・アグリビジネスのそれぞれを学べる系列と数多くの選択科目を設定するとともに、さまざまな施設・設備を備えた学校です。

また、県内でも屈指の斬新なデザインの校舎です。一辺が約120mの正方形の二階建てになっており、体育館(アリーナ)が中央に配置され、廊下は最大で幅7メートルもあるなど、視覚的にも考慮された快適な生活空間になっています。

バリアフリー設計で、廊下には段差がなく、エレベーターも設置されています。太陽熱を利用した床暖房も取り入れています。また、令和4年度には各ホームルーム教室にエアコンが整備され、運用されています。

ほかにも、マルチメディア型の広い図書館を備えており、一般への開放も実施しています。

(2) 教育方針

1 「進路希望の達成」

2 「学力の保障」

3 「集団の中で自己を磨き自己実現」

特に「きめの細かい進路指導・学習指導の推進」及び「心ゆたかで主体的に生きる人間の育成」に重点的に取り組んでいます。

(3) 教育課程の特徴

100以上の開設科目の中から、生徒が自分の科目を選択し、「自分独自の時間割」を作ります。ただ好きな科目を選ぶということではなく、科目選択のためには自分の進路を考える必要があります。総合学科ではそのために「産業社会と人間」という教科を1年次で学習し、進路について深く考えてもらうことにしています。この「産業社会と人間」は、科目選択のための学習や、上級学校ガイダンスなどを通して、自分の将来についていろいろな角度から見つめる教科です。

本校では“生徒の進路希望実現”を学校のテーマとして取り組んでおり、「ドリカムゼミ(総合的な探究の時間)」を通し、生徒の皆さん一人一人が3年間継続して自分の進路に向けた課題解決型の学習ができるようにしています。

生徒の皆さんが科目選択を考える材料として、本校では進路に応じた科目選択のモデルを《系列》として示しています。《系列》は、人文国際、自然科学、福祉教養、情報ビジネス、エンジニアリング、アグリビジネスの6つです。この系列を参考にして自分の科目を選択することになります。

(4) 行事・生徒会活動・部活動

主な行事：スポーツ大会、迫桜祭、ドリカムプラン発表会、芸術鑑賞会、修学旅行、支部総体、県総体、支部総合文化祭等。

生徒会活動：生徒会執行委員は『生徒が主体となって、生徒会活動を盛り上げる』をモットーに、明るく元気に日々活動しています。今自分たちができる最大限のことは何かを考え、生徒会新聞発行や、生徒の意見を聞く目安箱を設置するなど、生徒会として様々な行事の企画・運営を行っています。また、大規模災害に際して、ボランティア活動や募金活動も行っています。

部活動：運動部14、文化部13があり、熱心に活動しています。令和4年度は、各運動部がさまざまな大会で全力を出しました。水泳部は県新人大会200m背泳ぎで第4位に入賞し東北大会出場を果たしました。柔道部は県総体女子個人48Kg以下級で第3位入賞、バレー部男子は県総体でベスト16入賞するなど好成績を収めました。文化部は、写真部が県高校写真展で第2位、個人では、とうきょう総文祭で奨励賞を受賞しました。吹奏楽部、美術部も各コンクールで入選しまし

た。

(5) 卒業生の進路状況

進路一覧(過去3年間、進学者・就職者数)

進路	R4	R3	R2
大学	13	17	20
短期大学	5	10	12
専各学校	64	63	58
就職(県内)	64	53	72
就職(県外)	5	5	6
その他	3	3	3
卒業生計	154	151	171

主な進路先(令和5年3月卒業生)、
()内は人数 (1)は省略。

<私立大学>

石巻専修大学、嘉悦大学、尚綱学院大学(3)、仙台大学(2)、仙台白百合女子大学、東北学院大学(2)、東北工業大学(2)、日本医療科学大学

<短期大学>

修紅短期大学、仙台青葉学院短期大学(2)、宮城誠真短期大学(2)

<大学校・高等技術専門学校・専修各種学校>

【工業分野】東北職業能力開発大学校、石巻高技専、東北電子(5) 仙台工科 他

【農業分野】宮城県立農業大学校(2)、仙台eco動物海洋(3)、仙台総合ペット(2) 他

【医療分野】葵会仙台看護(専)、帝京高等看護学院(専)、大崎市准看護学校、佐野市佐野准看護(専)、市原看護(専)准看護、仙台医健・スポーツ(3)、仙台リハビリテーション(3)、仙台医療福祉、仙台接骨医療、東北保険医療、東日本医療 他

【衛生分野】仙台理美容(2)、仙台ヘアメイク(2)、東北ヘアモード(3)、宮城調理製菓(2) 他

【教育・社会福祉分野】仙台こども(2)、仙台幼児保育 他

【商業実務分野】仙台大原簿記情報公務員、東京法律公務員仙台校(3) 他

【文化・教養分野】仙台スイーツ&カフェ 他

<公務員>

登米市職員、自衛官一般曹候補生(5)、自衛官候補生

<民間就職>

トヨタ自動車東日本(2)、登米村田製作所(2)、トヨタテック東北(2)、エスピー食品(2)、アルプスアルパイン、凸版印刷東日本事業部、ミヤマ東日本(2)、若柳タムラ製作所(2)、仙北信用組合、豊明会、高森ロマンホーム、 他

3 学校魅力発信

(1) 本校生徒の活躍

写真部 とうきょう総文2022 奨励賞受賞

写真部は令和4年7月31日～8月4日に東京都で開催された第46回全国高等学校総合文化祭（とうきょう総文2022）に参加しました。写真部の全国大会出場は5年連続で、毎年優秀な成績を残しています。令和4年度は3年生の佐々木珠さん（栗原南中出身）が奨励賞（全国11位）を受賞しました。



「羨慕」(せんぼ)

佐々木 珠さん（栗原南中出身）からのコメント

私の作品が評価され、家族・先生・友人から祝福の言葉をいただいたことがとても嬉しかったです。表彰式の講評で、審査員の先生が私の撮影意図をくみ取ってお話してくださったことに感激しました。現地では全国の高校生と交流し、新しい写真技術について意見交換をしたり、東京浅草周辺の撮影会を通して東京の魅力を再発見したりと、とても貴重な体験ができました。次回、鹿児島県で行われる第47回全国高等学校総合文化祭（2023かごしま総文）へ2名の下級生が出場するので、部活動で身に付けた力を発揮してぜひ頑張りたいと思います。

(2) 学校の主な行事

スポーツ大会

例年7月中旬に2日間にわたりスポーツ大会が開催されます。今年は「安全➕第一」をスローガンに、アリーナでは球技が、グラウンドでは綱引きや学年・クラス対抗リレーなどが行われます。

各クラスが工夫を凝らしたオリジナルのTシャツを着て熱戦を繰り広げる様子は、毎年圧巻です。

3年生はコロナ禍のために制限されてきた学生生活でしたが、最後の機会を精一杯楽しもうと、競技にも応援にもより一層熱が入るようでした。

今年のスポーツ大会で総合優勝を飾るのは、果たしてどの学年でしょうか。



シクラメン販売

例年11月下旬から12月上旬に、アグリビジネス系列の生徒たちが丹精込めて育てたシクラメンの販売が本校農場で行われます。

毎年美しく咲いた花を楽しみに、たくさんの方にお越しいただき、たいへん好評をいただいております。

生徒たちは労いの言葉をいただき、努力が結実したことを感じています。



迫桜祭

例年10月中旬に、2日間の日程で、迫桜祭（文化祭）が行われます。初日は校内発表、2日目は一般公開します。

文化部のステージ・展示発表はもとより、各委員会や専門系列も毎年趣向を凝らした展示発表を行っています。迫桜祭の目玉と言えば、何と言っても各クラスステージ発表！

3・4枚目の写真は3年生の2クラスのパフォーマンスです。3段目は「スーパーマリオ」に扮した主人公がピーチ姫を救出するストーリーを、4段目は「One Piece」の主人公が仲間を従えて航海に出発するストーリーを、オリジナルのダンスと歌で見事に表現しました。

今年はどうのようなパフォーマンスが見られるか、今から楽しみです。



(3) 制服紹介

平成13年開校時より現在の制服を制定しています。

男子はストライプのネクタイが、女子はタータンチェックのスカートと水色のリボンが、ともに高校生らしくさわやかな印象を与えます。

令和2年度からは女子の防寒対策などを考慮し、女子用スラックスを導入しています。女子でスラックスを着用している時は、ネクタイ着用も可としています。



(4) 施設紹介

2001年に開校した校舎です。中央にアリーナ（体育館）を置き、その周囲を口の字型に各教室が囲む、これまでにない独特な形状が特徴です。

若柳の田園に現れた、エアーズロックのような巨大な建物。それが迫桜高校の校舎です。



4 在校生からのメッセージ

生徒会長 鈴木 星空さん（築館中出身）からのメッセージ

中学生の皆さん、生徒会長の鈴木星空（すずき きら）です。私から迫桜高校の特色と、私が入学して感じたことについて紹介します。

迫桜高校は2001年4月1日、旧栗原農業高校と旧若柳高校を統合して設立されました。現在424名の生徒が在籍し、60名以上の先生に見守られながら自分の進路実現に向けて頑張っています。

迫桜高校の一番の特色は総合学科にあります。人文国際・自然科学の普通2系列と、福祉教養・情報科学・エンジニアリング・アグリビジネスの専門4系列から、生徒自身の興味・関心のある系列を選択することで、生徒一人一人が自分の将来の進路を真剣に考え、それに最適な時間割を作成し、将来の目標を実現できる学校です。

私が迫桜高校に入学して感じたことは、校舎が独特なものだということです。今でも初めて知る教室があったり、いまだに迷ったりするくらい複雑です。ですが、迷路感覚で楽しむ？ことができる上、校舎内もキレイで、全体的にとっても清潔感のある学校です。

もう一つ、学食を紹介したいと思います。迫桜高校の学食は提供されるメニューが豊富で、もちろん味はとも美味です。そして、学年に関係なく利用することができます。

中学生の皆さん、ぜひ迫桜高校に入学し、私たちと楽しい高校生を送りませんか。学校説明会で待っています。